

令和 7 年度入学試験問題
(学校推薦型選抜 I ・ 社会人特別選抜)

小 論 文

国際地域創造学部 国際地域創造学科
(昼間主コース ・ 夜間主コース)

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章は山本謙治氏の『エシカルフード』という著書の一部です。エシカル (ethical) とは英語で「倫理的な」「道徳的な」という意味で、「倫理的消費 ethical consumption」という語が「消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮し、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと」といった意味で使われています。これには環境への配慮、人権および労働者の権利、動物愛護などの問題が含まれています。次の文章を読んで設問に答えなさい。

非公開

非公開

(山本謙治 (2022). 「エシカルフード」 角川新書, 157～159 ページ, 抜粋・一部改変)

問1 「食品ロス」という語の示す「食品」とは可食部（例えばバナナの皮や魚の骨は含まない）を指している。文化の違いによる「食品」の違いについて例を挙げて 250 字以内で述べなさい。

問2 エシカル消費による食品ロス削減について、著者の意見についてまとめ、その意見についてあなた自身の立場（賛否）を明確にした上で、グローバルな経済的視点およびローカルな文化的視点に留意しながら、その対策を 800 字以内で具体的に述べなさい。

令和 7 年度入学試験問題

(学校推薦型選抜Ⅰ・社会人特別選抜)

小 論 文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

(昼間主コース・夜間主コース)

出 題 の 意 図

この小論文の出題の意図は、課題文におけるグローバルな経済学的なものの見方を文化の違いなどを考慮しながら具体的に例示する力をみることにある。問1では文化によって「可食部」についての考え方が異なることを考える力をみている。問2では問1の観点を含めながら問題解決のための方策を具体的に考え、それを表現できるかをみる。

この問題は琉球大学国際地域創造学部の3つのアドミッション・ポリシー「地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味をもち、主体性をもって課題に取り組み、そしてより良い課題解決のために様々な立場の人々と意見を交換しつつ実行することができる人」「現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対して関心をもち、自らの感性と経験を通して他者や社会と関わり、得られた知見を社会全般に還元する態度を備えている人」「21世紀型市民として必要な学際的教養を身に付ける意欲をもち、他者や異文化のもつ多様な価値観に対して柔軟な態度を身に付けている人」を総合的に判断するものである。